

## 実践『ペルソナ』通信 (No. 128)

### 「靴」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大生の「靴」について、観察調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

#### 総括

今回の調査を通して、実践女子大学生はスニーカーを着用している人の割合が高い傾向がありました。その中でも黒や白といったどんな服装にも合わせやすい色を選択している人が多く見受けられ、靴もコーディネートの一つとして考えている人が多いことがわかりました。また、話を聞いたところ、季節ごとに着用する靴の種類を変える人が多く、調査期間が冬であったこともあり、ブーツを着用している人も多く見られました。ブーツの利点は、暖かい点や、コーディネートのワンポイントになる点という意見が多くありました。

#### 調査結果のポイント

##### (1) スニーカーを履いている割合が高い

パンプスやブーツを履いている人よりも、スニーカーを履いている人の割合が高く、スニーカーを履いている人の中でも、黒や白といった何にでも合わせやすい色を選ぶ人が多いことから、歩きやすさや履きやすさ、どのような服にも合わせやすい汎用性の高さが重視されやすいと考えられます。

##### (2) ブーツの着用率が高い

調査期間が冬であったことから、スニーカーの次にブーツを履いている人の割合が多く、履きやすさの面からかロングブーツではなくショートブーツを履いていることが考えられます。

##### (3) 暗い色の靴を履いている人の割合が高い

靴の種類を問わず、黒やブラウンといった暗い色の靴を履いている人の割合が高く、色物を履いている人が少なかったことから、どのようなファッションにも合わせやすく、失敗が少ない色を選択する傾向にあることがわかりました。また、同じように汎用性が高い白よりも黒やブラウンが選ばれる理由として、汚れや擦り傷が目立ちにくく、手入れも簡単である

という点も考えられます。

### 調査概要

- ・調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- ・調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- ・調査期間：2025年12月～2026年1月
- ・調査場所：実践女子大学渋谷キャンパス・調査協力者の居住スペース

### 調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 岩坂果純・末兼萌衣・高野菜々葉

### 写真

【スニーカー】





【パンプス】



【ブーツ】





### 調査後記

今回の調査を通じて、女子大生は様々な靴を所持していることがわかりました。調査対象の22人中10人が、「スニーカー」を着用しており、A面の調査結果と同様に「スニーカー」の着用率が高い結果となりました。履きやすさという面は普段の靴を使用するうえで欠かせないポイントであることがわかります。

また、写真全体を見ると靴の種類を問わず黒やブラウンといった暗い色の靴を履いている人の割合が高く、それ以外は無地のホワイトのいずれかの2択でした。スカート・ズボンなどのファッションとも合わせやすいことが写真からも読み取れます。パンプスは着用している人全員が黒色ですが、形や紐の有無などで自分自身の個性を表現して楽しめるものだとわかりました。

今回の調査において、多くの学生の方々に快く調査への回答や写真の提供をしていただいたことで、報告書を作り上げることができました。ご協力いただいた皆様には、この場をお借りして深く御礼申し上げます。今回の調査での経験を今後の調査分析に活かせるよう、メンバー一同精進いたします。

右図は上述のポイントを踏まえ、生成AI(ChatGPT5.2、2026年02月04日作成)によるペルソナのイメージ図です。

